

## 全国豊かな海づくり大会に出展

平成11年10月3日、福島県相馬市で開催された「第19回全国豊かな海づくり大会」に出展し、「うつくしま海づくり館」に水槽やPRパネルなどを展示しました。

当日は、県内外からお出でいただいた多くの方々に「アクアマリンふくしま」の建設状況や飼育している魚の一部を紹介しました。

水槽内を泳ぐかわいい魚たちに、足をとめて見とれている方も多く見受けられ、関心の高さが感じられました。



かわいい魚に多くの人が見とれていました

## 各種イベントなどでの広報宣伝

来年夏のオープンを控え、現在、「アクアマリンふくしま」のPR活動を進めています。

いわき市内では、8月に建設地周辺で開催された「いわき港まつり」をはじめ、10月に21世紀の森公園での「わくわく」いわき1999や大黒屋で開催された「いわきの観光と物産展」などに出席し、タッチングプールや水槽の展示、



親子づれでにぎわった「観光と物産展」

リーフレットの配付などを行いました。

そのほか、首都圏で開催される観光物産展などでも、PRを行っています。

## オープン2周年を迎えたいわき・ら・ら・ミュウ

「アクアマリンふくしま」の対岸、1号埠頭にあるのが「いわき市観光物産センター いわき・ら・ら・ミュウ」です。

ここでは、市場直送の新鮮な魚介類や地元特産のお土産類が販売され、大変活気にあふれています。

また、館内には、地元名産の魚料理のお店や観光遊覧船「いわきデイクルーズ」の旅客ターミナルもあります。

8月には、オープン2周年記念事業に協力し、メダカなどの水槽を展示して福島県内の水辺を再現したPRコーナーを設けました。



## 生まれ変わる1号、2号埠頭周辺

「アクアマリンふくしま」が建設される小名浜港1号、2号埠頭周辺では、ボードデッキや街灯などの整備が進んでいます。

お洒落な雰囲気が漂う憩いの場所として生まれ変わりつつあり、アクアマリンと合わせて、新しい観光スポットとなりつつあります。

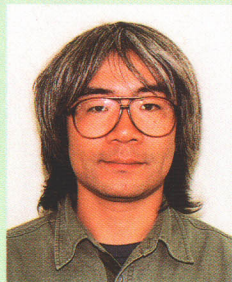
### 表紙の説明

表紙の写真はストックヤード内で孵化したニジトビウオ属(*Hirundichthys sp.*)の一種の稚魚。  
写真提供：福島民友新聞社

編集・発行 財団法人ふくしま海洋学習館  
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1  
TEL 0246 (73) 0880 FAX 0246 (73) 0885  
ホームページアドレス <http://spl.powernet.or.jp/~aqua-f/>  
発行日 平成11年10月25日  
印刷 長瀬印刷株式会社



**aquamarine**  
Fukushima



飼育展示課 安田 純

## ひとりごと

かつて京都の名庭園「桂離宮」の作庭を依頼された小堀遠州は、次のような条件をだしたそうです。①金がいくらかかってもお構いないこと②時間が何年かかってもお構いないこと③完成までは依頼主が現場を見に来ないこと。①、②は、誰でもわかることだと思います。金と時間は何をすることも必要です。③は理解のない者に途中で口をだされると、満足なものが造れないということです。

この三つは、いずれも良い庭を造るための条件なのですが、実はこの他にもう一つ大切な条件があるそうです。それは、依頼主の高度な文化性、芸術性、理解力です。作庭家がどんなに努力をしても、庭は、結局は依頼主の高さだけのものしかできないそうです。

さて、新しく生まれる「アクアマリンふくしま」は、いったいどのような水族館になっていくのでしょうか。